# 防草シート施工手順

屋外防犯用品の販売サイト
Fieldsaver.com
フェンスやセンサーカメラで屋外の防犯対策をサポート

# ①清掃作業

## 草刈や凹凸の慣らしを行う

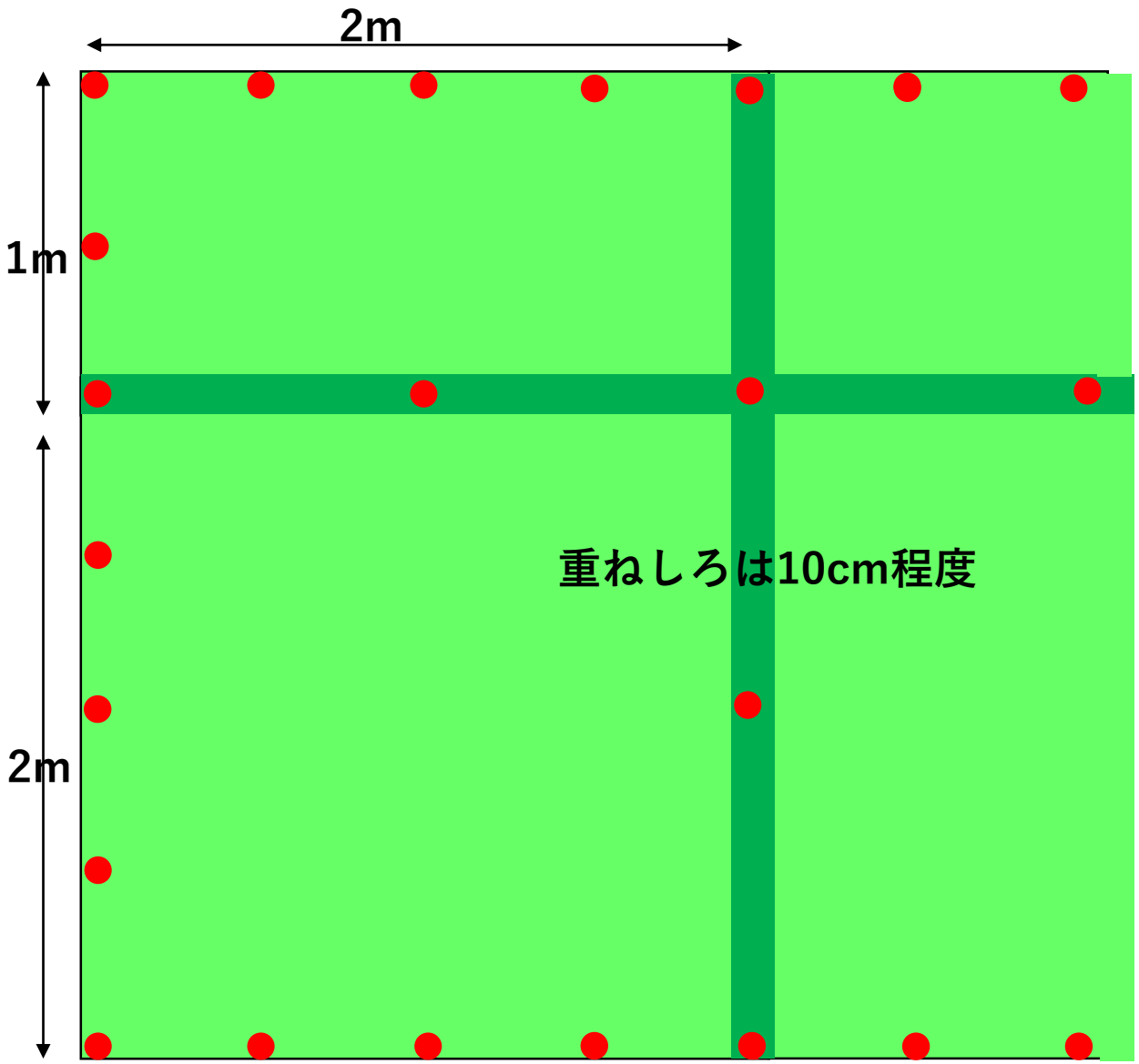
・表面に出ている草、茎を綺麗に刈り込む。また不陸整正も行う。
・フェンスなど構造物に防草シートを固定する場合は、表面を研磨し、接着剤で貼りつける。

# ②敷設作業（準備１）

## 防草シートを延長方向に敷き伸ばす

・フェンスなどの支柱が防草シートの敷場所と重なる場合、支柱の位置に印をつける
・目串打設場所にも印をつける。
※端部は50cmピッチで印をつける。
※重ね部も50cm、もしくは接着剤やテープを使用する場合は100cmピッチで印をつける。

# ③敷設作業（準備２）




＜設置前準備（ﾏｰｷﾝｸﾞ）＞
防草シートの設置前に、端部は50cmピッチで印を付ける。
重ね部は50cmピッチ、接着剤やテープを使用する場合は100cmピッチで印を付ける。

＜設置作業手順＞
①端部に接着をしたい箇所（コンクリート等）がある場合、
　防草シート10cm程度を接着剤やテープで固定する。

②法肩側端部（縦横）に50cmピッチで目串を打設。

③重ね部は50cmもしくは100㎝ピッチで目串を打設。

④法尻側端部（縦横）に50cmピッチで目串を打設。

**法肩･法尻(のりかた･のりじり)**
切土や盛土により作られる人工的な斜面の最上部の端のことを法肩という。逆に法面の最下部の端は法尻という。

なお、傾斜の無い場所で防草シートを張る場合も、端部の目串はたわみの出ないように注意して打設を行う。

# ④敷設作業（障害物周りカット処理）

## 必要に応じてカット加工を行う

・支柱などの障害物がある場合、事前にカットを行う。
・1か所ずつカットを行い、目串打設前にすべての箇所のカットを先に行う。

# ⑤敷設作業（障害物周りの加工例）

円カッター

円カッターにて
事前にカットを
行う。

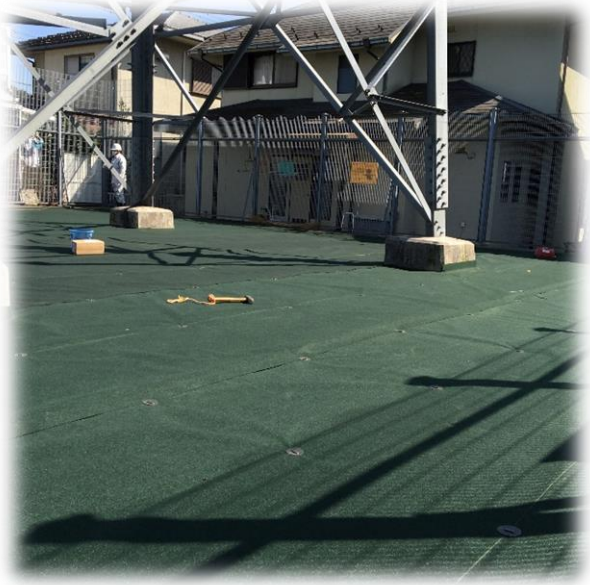
仕上りイメージ

# ⑥目串打設作業（端部処理）

## 目串の打設

・端部は50cmピッチで目串を打設。重ね部、中部は100cmピッチで目串を打設。
・目串はできるだけワッシャーやテープなどの補助アイテムを使用し、固定力強化を施す。
・端部に防草シートを接着させたい箇所（コンクリート等）がある場合、防草シート10cm程度を接着剤やテープで固定する。

# ⑦作業完了



※接着剤やテープをご利用の際は、別途ご用意ください。